



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東  
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 莊祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	905	△17.5	199	△35.9	190	△34.9	128	△36.4
2025年12月期第1四半期	1,097	5.1	311	4.7	292	△6.4	201	△3.3

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 128百万円(△36.4%) 2025年12月期第1四半期 201百万円(△3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	43.14	43.05
2025年12月期第1四半期	68.01	67.88

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,362	2,559	76.1
2025年12月期	3,168	2,520	79.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,559百万円 2025年12月期 2,520百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,759	7.5	300	△5.5	301	△12.1	203	△12.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年12月期 1 Q	2,969,000株	2025年12月期	2,969,000株
2026年12月期 1 Q	681株	2025年12月期	681株
2026年12月期 1 Q	2,968,319株	2025年12月期 1 Q	2,961,519株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日~2026年3月31日)における世界経済は、中東情勢の緊迫化やロシア・ウクライナ情勢の長期化等、地政学リスクが依然として燃る状況にあり、加えて米国の通商政策の変更による影響等から、景気の先行き不透明感が高まりつつあります。日本国内においては、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは幅広い顧客ニーズに対応するため、商品ラインナップを定期的に見直し、多角的な課題解決に寄与するAIプラットフォーム型コンテンツ等の取扱いにも注力しております。この他、定期的に調査会社との共催セミナーを開催し、関心の高いテーマに関する情報発信に注力しております。販売面では、各種AIツールの提供や購買後のアフターフォロー強化等により、顧客満足度の向上に努めました。顧客の要望に応じたレポートのカスタマイズや委託調査へのアップセルを積極的に提案する取組みを通じて、より付加価値の高い情報サービス需要を開拓しております。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、国際会議・展示会事業においては、現地開催を中心に徐々に取扱いを増やしております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信をはじめLPWA通信に関する製品の開発・販売に努めております。また、非接触型展示会DXシステム「AiMeet(アイミート)」の販売にも取り組んでおり、複数の展示会イベントに導入されております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は905,389千円(前年同期比17.5%減)、営業利益は199,813千円(前年同期比35.9%減)、経常利益は190,840千円(前年同期比34.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は128,052千円(前年同期比36.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

#### (a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、日本国内の多くの顧客企業が決算期を迎える3月に向けて、顧客訪問や面談を軸とした各種営業活動を実施してまいりました。本社部門においては、市場調査レポートの受注数量が低迷しており、売上高は前年同期を下回りました。海外部門においては、昨年から引き続き韓国支店が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比23.1%減の714,980千円となりました。

#### (b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門においては、年間情報サービスの平均単価が上昇しており、売上高は前年同期を上回りました。海外部門においては、韓国支店が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比5.2%増の47,179千円となりました。

#### (c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、委託調査案件の単価が上昇しており、売上高は前年同期を上回りました。海外部門においては、韓国支店が好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比27.2%増の131,284千円となりました。

#### (d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、国際会議・展示会の参加者数が前年同期と比べ減少しており、本社部門、海外部門合

計の売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比44.9%減の4,367千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比17.3%減の897,812千円となり、セグメント利益（営業利益）は203,247千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、販売代理店契約を締結している展示会DXツール「AiMeet」の販売を主な事業にしております。当第1四半期の売上高は前年同期比35.7%減の7,576千円となり、セグメント損失（営業損失）は、3,764千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、193,491千円増加の3,362,484千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、186,306千円増加の3,260,637千円になりました。この主な要因は、現金及び預金の9,660千円減少、売掛金の203,363千円増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、7,185千円増加の101,846千円になりました。この主な要因は、繰延税金資産の8,245千円増加等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、154,529千円増加の802,970千円になりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、149,314千円増加の476,508千円になりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の87,716千円増加、未払消費税等の47,179千円増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、5,215千円増加の326,462千円になりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の3,765千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、38,961千円増加の2,559,514千円になりました。この主な要因は、利益剰余金の39,003千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は76.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表（2026年2月10日付）いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,700,442	2,690,781
売掛金	241,119	444,482
商品及び製品	11,337	8,108
原材料及び貯蔵品	5,696	8,294
前渡金	87,421	79,435
その他	28,314	29,534
流動資産合計	3,074,331	3,260,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,182	23,951
車両運搬具（純額）	3,106	2,848
工具、器具及び備品（純額）	4,132	5,963
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	44,360	45,703
無形固定資産		
商標権	85	79
ソフトウェア	1,349	1,254
その他	465	465
無形固定資産合計	1,900	1,799
投資その他の資産		
繰延税金資産	18,626	26,871
その他	29,773	27,472
投資その他の資産合計	48,399	54,343
固定資産合計	94,661	101,846
資産合計	3,168,993	3,362,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,992	162,709
未払金	30,058	23,484
未払法人税等	43,436	70,978
未払消費税等	25,520	72,699
前受金	113,811	103,181
賞与引当金	5,724	22,899
その他	33,649	20,556
流動負債合計	327,193	476,508
固定負債		
退職給付に係る負債	19,832	21,282
役員退職慰労引当金	301,415	305,180
固定負債合計	321,247	326,462
負債合計	648,440	802,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,920	175,920
資本剰余金	154,929	154,929
利益剰余金	2,189,625	2,228,628
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,520,330	2,559,333
非支配株主持分	222	180
純資産合計	2,520,552	2,559,514
負債純資産合計	3,168,993	3,362,484

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,097,021	905,389
売上原価	557,737	463,998
売上総利益	539,283	441,390
販売費及び一般管理費	227,369	241,577
営業利益	311,914	199,813
営業外収益		
受取利息	663	2,040
その他	137	18
営業外収益合計	800	2,058
営業外費用		
為替差損	19,747	11,030
営業外費用合計	19,747	11,030
経常利益	292,967	190,840
特別損失		
その他	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	292,967	190,840
法人税、住民税及び事業税	99,230	71,074
法人税等調整額	△7,648	△8,245
法人税等合計	91,582	62,829
四半期純利益	201,385	128,011
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△41	△41
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,426	128,052

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	201,385	128,011
四半期包括利益	201,385	128,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,426	128,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	929,264	—	929,264	—	929,264
年間情報サービス	44,867	—	44,867	—	44,867
委託調査	103,187	—	103,187	—	103,187
国際会議・展示会	7,927	—	7,927	—	7,927
その他	—	11,774	11,774	—	11,774
顧客との契約から生じる 収益	1,085,246	11,774	1,097,021	—	1,097,021
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,085,246	11,774	1,097,021	—	1,097,021
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,085,246	11,774	1,097,021	—	1,097,021
セグメント利益又は損失 (△)	315,306	△3,722	311,584	330	311,914

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去330千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	714,980	—	714,980	—	714,980
年間情報サービス	47,179	—	47,179	—	47,179
委託調査	131,284	—	131,284	—	131,284
国際会議・展示会	4,367	—	4,367	—	4,367
その他	—	7,576	7,576	—	7,576
顧客との契約から生じる 収益	897,812	7,576	905,389	—	905,389
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	897,812	7,576	905,389	—	905,389
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	897,812	7,576	905,389	—	905,389
セグメント利益又は損失 (△)	203,247	△3,764	199,483	330	199,813

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去330千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,251千円	1,125千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。